

血液型別

血液型とかかりやすい病気については、
これまでに学术论文などで多数の報告がなされています。

かかりやすい病気リスト



A型

がんと生活習慣病に なりやすく注意が必要!

A型は病気の中でも
がんが多い!

- | | |
|---------------------|--------|
| ☑ 胃がん | ⇒ P.17 |
| ☑ 唾液腺がん | ⇒ P.18 |
| ☑ 前立腺がん(術後再発率) | ⇒ P.20 |
| ☑ 肺塞栓症(エコノミークラス症候群) | ⇒ P.24 |
| ☑ ノロウイルス | ⇒ P.31 |
| ☑ 細菌性髄膜炎 | ⇒ P.35 |
| ☑ 貧血 | ⇒ P.41 |
| ☑ 脂質異常症 | ⇒ P.43 |

A型は最もがんにかかりやすいとされる血液型です。胃がんは早期発見で完治率が高いため、胃部内視鏡検査がおすすめです。術後の再発率が高いとされる前立腺がんも、血液検査で発見できます。A型がかかりやすいとされる

がんは、早期発見が可能なものも多いため、特にがん検診を積極的に受けることが大切です。また、脂質異常症や女性の貧血といった生活習慣病にも注意が必要です。不摂生な生活習慣を正し、病気のリスクを下げるよう努め

P.35

P.39

P.29

P.31

B型

膵臓がん、感染症、 肺の病気に気をつけて!

B型は病気の数が 最も多い!

- | | | |
|---------------------|--------|------|
| ✓ 膵臓がん | ⇒ P.16 | |
| ✓ 卵巣がん | ⇒ P.19 | |
| ✓ 悪性リンパ腫 | ⇒ P.22 | |
| ✓ 肺塞栓症(エコノミークラス症候群) | ⇒ P.24 | |
| ✓ 脳梗塞 | ⇒ P.26 | |
| ✓ マラリア | ⇒ P.28 | P.32 |
| ✓ 肺炎 | ⇒ P.36 | P.40 |
| ✓ 結核 | ⇒ P.37 | P.41 |
| ✓ 淋病 | ⇒ P.38 | P.42 |
| ✓ 糖尿病(2型) | ⇒ P.40 | P.28 |
| ✓ 高血圧 | ⇒ P.42 | P.30 |

か

かりやすいがんです。特に注
目したいのが、早期発見

が難しいとされる膵臓がんで
す。日頃から禁煙と適正体重を
維持することが、B型のがん対
策には必要でしょう。

また、B型は熱帯熱マラリア
に感染すると、O型の約4倍も

重症化するリスクがあると報告
されています。

海外のマラリア流行地へ赴く
際は、しっかりと対策を講じて
から渡航しましょう。

肺炎や結核にかかりやすいの
もB型の特徴です。長引く咳は、
呼吸器内科を受診





消化器系の病気に めっぽう弱いO型!

O型は血管系の
病気リスクが低い!

- | | | |
|--------------|--------|------|
| ✓ 皮膚がん | ⇒ P.21 | |
| ✓ 悪性リンパ腫 | ⇒ P.22 | |
| ✓ 胃潰瘍・十二指腸潰瘍 | ⇒ P.23 | |
| ✓ コレラ | ⇒ P.30 | P.34 |
| ✓ 0157大腸菌 | ⇒ P.32 | P.36 |
| ✓ ピロリ菌 | ⇒ P.33 | P.37 |
| ✓ 細菌性髄膜炎 | ⇒ P.35 | P.39 |
| ✓ 貧血 | ⇒ P.41 | P.29 |



潰瘍や十二指腸潰瘍、ピロリ菌感染にコレラやO

157大腸菌と、O型のかかりやすい病気のほとんどは、消化器系の病気です。

ピロリ菌感染は、胃潰瘍や十二指腸潰瘍の原因となるため、ぜひピロリ菌検査を受けま

しょう。ピロリ菌がいた場合は、薬で除菌できます。

逆に、O型は生まれつき、血液が固まりにくい性質のため、肺塞栓症や心臓病、脳梗塞などの血管系の病気リスクは低いという特徴もあります。

AB型

重篤になる可能性のある 病気にかかりやすい!

AB型は季節の感染症に 注意が必要!

- | | | |
|---------------------|--------|------|
| ✓ 卵巣がん | ⇒ P.19 | |
| ✓ 悪性リンパ腫 | ⇒ P.22 | |
| ✓ 肺塞栓症(エコノミークラス症候群) | ⇒ P.24 | |
| ✓ 心臓病 | ⇒ P.25 | |
| ✓ 脳梗塞 | ⇒ P.26 | |
| ✓ 認知障害 | ⇒ P.27 | |
| ✓ デング熱 | ⇒ P.29 | P.33 |
| ✓ インフルエンザ | ⇒ P.34 | P.38 |
| ✓ 細菌性髄膜炎 | ⇒ P.35 | P.39 |
| ✓ 梅毒 | ⇒ P.39 | P.43 |

AB 型の人は、O型の人と比べて、**脳梗塞**では1・59倍、**認知障害**では1・82倍も発症リスクが高いとされています。どれも発症すると、後遺症や生活の質が著しく低下する病気ばかりです。食事や運動、睡眠

など健康的な生活習慣で発症リスクを抑えましょう。夏に蚊を介して感染する**デング熱**や、秋から冬にかけて流行する**インフルエンザ**にも感染しやすい特徴があります。季節ごとの感染症予防にも、特に気を配る必要があります。

